

●当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間におきましては、長引く金融引き締めの影響があるものの、世界経済は緩やかながらも成長軌道を確認いたしました。国内においては自動車の減産による景気の一時的な停滞、世界的には中東情勢を巡る紛争の緊迫化など、景気の足かせとなる懸念材料は残りますが、米国における労働市場の堅調な推移や、欧州の個人消費にも持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復傾向となりました。

このような経営環境の中で、当社グループは2022年11月21日より、暮らしの課題、社会の課題を解決しながら持続的に成長するソリューションブランドへ着実に移行「シフト」するため、中期3ヵ年計画『SHIFT』をスタートし、具体的施策の実行に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内では炊飯ジャーなどの調理家電製品をはじめとして、リビング製品や生活家電製品も順調に推移するなど、国内売上高が増加したこともあり、47,572百万円（前年同期比4.7%増）となりました。連結全体の国内売上高は28,546百万円（前年同期比5.7%増）、海外売上高は19,025百万円（同3.2%増）となり、海外売上高構成比は40.0%となりました。

利益については、主に国内における販売が好調に推移したことに加え、円安による輸入コストの増加に対する価格転嫁を進めたことで売上高が増加したものの、販売費及び一般管理費が増加したこともあり、営業利益は4,370百万円（前年同期比2.4%減）となりました。経常利益は5,199百万円（同2.7%減）となり、物流倉庫の移転に伴う土地・建物の譲渡により固定資産売却益を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,830百万円（同29.4%増）となりました。

●取り組み状況について

中期3ヵ年計画『SHIFT』の2年目にあたる当期は、暮らしの課題、社会の課題を解決しながら持続的に成長するソリューションブランドを目指して、具体的施策の実行に取り組んでおります。具体的には、調理家電の国内トップブランドの確立に向けて、圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』を軸とした販売の拡大、海外においては2023年12月に韓国支店を設立し営業活動を強化するなど新規領域の拡大と既存領域の拡大に取り組まれました。その他にも業務変革DXの推進、象印ダイレクトやオーナーサービスの拡充、海外事業におけるECおよび業務用チャンネルの強化など各施策に取り組んでおります。また、BCP（事業継続計画）の一環といたしまして、アフターサービスの業務継続体制の構築が完了いたしました。

今後につきましては、原材料価格の高騰や為替変動による調達コストの上昇などが懸念されますが、独自機能を搭載したオープンレンジのラインアップ拡充など主力の調理家電製品等の新製品を投入し、売上の維持拡大を図ります。業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績の状況等をふまえ、2023年12月25日に公表いたしました業績予想を据え置いております。なお、前提為替レートにつきましては、2023年12月25日公表時点での1ドル=140円を、1ドル=150円に変更しております。

厳しい経営環境ではございますが、株主の皆様におかれましては、今後ともますますあたたかいご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

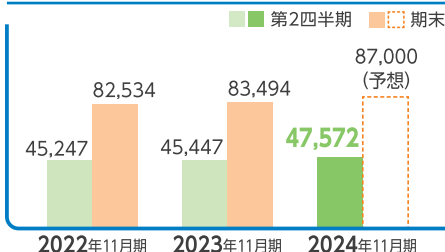
代表取締役
社長執行役員

市川 典男

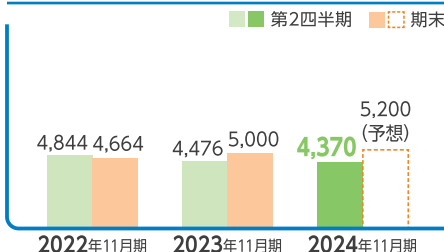


連結財務ハイライト

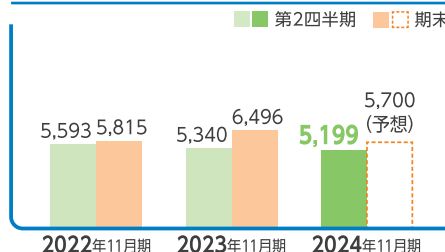
売上高 (単位:百万円)



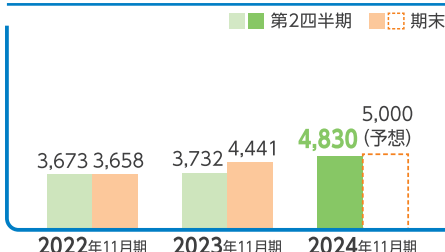
営業利益 (単位:百万円)



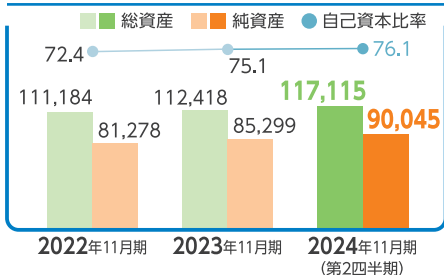
経常利益 (単位:百万円)



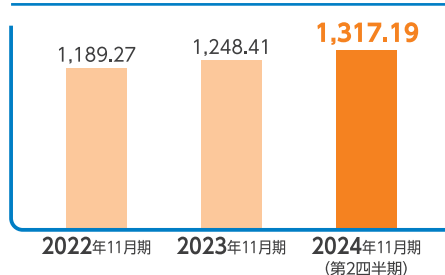
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産/自己資本比率 (単位:百万円・%)



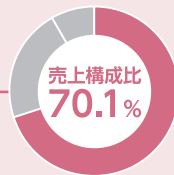
BPS [1株当たり純資産] (単位:円)



製品区分別業績の概況

調理家電製品

売上高 **333億48百万円** 前期比 **4.0%増** ↑



主な製品



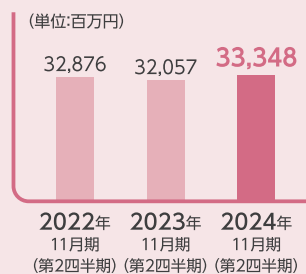
圧力IH炊飯ジャー
(NW-FC型)



オープンレンジ
(ES-GW型)

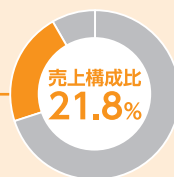
炊飯ジャーが好調に推移し、国内外で売上が増加

- [国内]** ●炊飯ジャーは、最上位機種である圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』が好調に推移し、前年実績を上回りました。
- オープンレンジや電気ポットは市場の縮小傾向もあり低調でしたが、電気ケトルは好調に推移したほか、ホットプレートやオーブトースターが前年よりも好調に推移しました。
- [海外]** ●電気ポットが苦戦しましたが、中国と東南アジアで炊飯ジャーの販売が好調だったほか、台湾で販売を開始したオープンレンジが売上増加に寄与しました。



リビング製品

売上高 **103億74百万円** 前期比 **4.1%増** ↑



主な製品



ステンレスマグ
(SM-VB型)



キャリータンブラー
(SX-JS型)

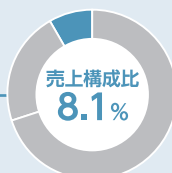
国内及び北米でステンレスボトルなどのステンレス製品が好調に推移

- [国内]** ●ステンレスボトルやステンレススープジャーが好調に推移し、前年実績を上回りました。
- [海外]** ●東南アジアや韓国でステンレス製品が苦戦しましたが、北米の販売が好調に推移したことにより、前年実績を上回りました。



生活家電・その他製品

売上高 **38億48百万円** 前期比 **12.4%増** ↑



主な製品



加湿器
(EE-DD型)

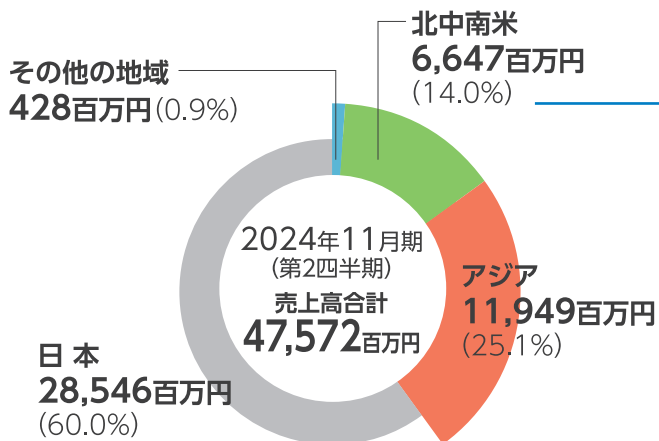
国内外で加湿器が好調

- [国内]** ●ふとん乾燥機や空気清浄機の販売は低調でしたが、加湿器や食器乾燥器が好調に推移し、前年実績を上回りました。
- その他製品は、前年実績を上回りました。
- [海外]** ●加湿器が韓国で好調に推移しました。

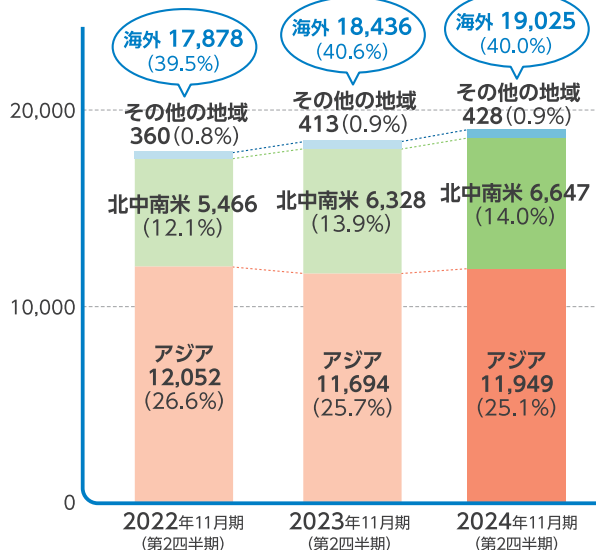


地域別業績の概況

■2024年11月期(第2四半期) 地域別売上高構成比



■海外売上高 / 海外売上高比率の推移 (単位:百万円)



トピックス



圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』(NW-FC型) 新発売

当社は、圧力IH炊飯ジャー『炎舞炊き』(NW-FC型)を発売いたしました。NW-FC型は、さらなるおいしさの向上のために内釜の素材である「鉄」の純度を見直すと共に、健康志向の高まりから注目されているおかゆに、さらっと食べやすい「粒立ちがゆ」メニューを新たに搭載しております。



<https://www.zojirushi.co.jp/syohin/rice/ricecooker/nw-fc/>



ごはんを愛する象印がごはんの魅力を発信する WEBコンテンツ「きょうも、ごはん。」を4月24日より開設

当社は、ごはんに関する情報をまとめたWEBコンテンツ「きょうも、ごはん。」を4月24日より開設しました。

当社は、1970年の電子ジャー発売以来、「おいしいごはん」をご家庭に提供することを追求してきました。日本人のお米離れが進む中、炊飯ジャーや家庭用精米機などごはんに関わるメーカーとして、「ごはんを笑顔を増やしたい」「日本のごはん文化を守りたい」「ごはんをもっと好きになってもらいたい」との思いから、ものづくりだけではなく、おいしいごはんに関わる啓発活動にも長年取り組んでまいりました。このたび、WEBコンテンツ「きょうも、ごはん。」を開設することで、当社の“ごはんへの想い”を改めてお伝えするとともに、ごはんの可能性、素晴らしさをより一層発信してまいります。さまざまな観点からごはんの魅力をご紹介します、「ごはんっていいな」「きょうもごはんを食べよう」と思っていただけのコンテンツを目指します。



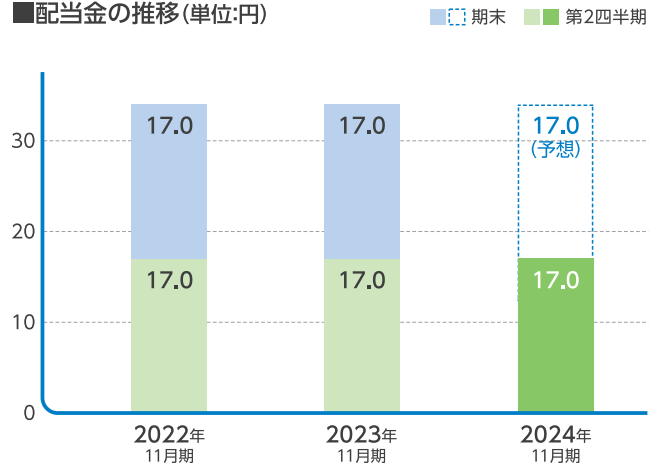
<https://www.zojirushi.co.jp/gohan/>

株主還元方針について

当社は、株主に対する利益還元を重要政策の一つと考えており、企業基盤の強化ならびに将来の事業展開のための内部留保や収益見通しなどを総合的に勘案しながら、連結配当性向50%以上を目安として安定的な配当の維持に努めていく所存です。また、自己株式取得を含め、2023-2025年の3ヵ年累計の総還元性向を100%以上とする方針であります。

この基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり17.0円を実施いたしました。期末配当については、1株当たり17.0円を予定し、年間配当額は1株当たり34.0円を予定しております。また、2024年7月2日の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式の取得を実施いたしました。今回取得した株式の総数は2,098,600株で、株式の取得価額の総額は、3,271百万円となりました。今後も中期経営計画で掲げた方針に向け引き続き取り組んでまいります。

■配当金の推移(単位:円)



株主優待制度のご案内

◆株主優待内容

当社商品の優待価格および優待特別割引による販売
※優待特別割引については、右の表をご確認ください。

◆株主優待対象基準

11月20日現在の当社株主名簿に記載または記録された単元株(100株)以上の株式を保有されている株主様

◆株主優待のご利用方法

年1回、毎年2月に対象株主様へ優待販売のご案内および申込はがきを送付いたします。優待販売のご案内をご覧ください、ご希望の商品をお申込ください。

■優待特別割引

ご所有株式数	優待特別割引額
100株以上 500株未満	ご購入金額合計より 1,000円割引
500株以上 1,000株未満	ご購入金額合計より 2,000円割引
1,000株以上	ご購入金額合計より 4,000円割引

株主メモ

事業年度	毎年11月21日から翌年11月20日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	■定時株主総会 11月20日 ■剰余金の配当 期末 11月20日 中間 5月20日
1単元の株式数	100株
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.zojirushi.co.jp/ir/stock_info/public_notice.html
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

象印マホービン株式会社

〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 TEL06-6356-2311

〈ホームページのご案内〉 <https://www.zojirushi.co.jp>

企業情報や製品情報など象印マホービンの最新情報をご覧ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

証券コード:7965